



芝山小だより



夏休み号
清瀬市立芝山小学校

校長 榎並 みな子

夏休みの居場所づくりと思い出づくり

校長 榎並 みな子

朝の通勤の際には、いつもプールの横を歩いて学校に来ます。つい最近まで、プールサイドで2羽のカモがのんびりと過ごしているのを見かけました。水泳指導が外部委託に変わり、使われなくなったプールでじっとしているカモを見ながら、この2羽にとっては心地の良い居場所なのだと思います。しかし、汚れた水を放置するわけにもいかないので、プール清掃が入り、きれいになったことはとても嬉しいのですが、2羽のカモを見かけることがなくなってしまいました。少し寂しくなりましたが、きっと、2羽のカモは、どこか自分たちの心地よい居場所を見付け、過ごしていることと思います。

さて、明日から44日間という長い夏休みが始まります。子供たちは、学校で友達と共に過ごしていた時間を、家で過ごしたり、祖父母の家で過ごしたり、学童で過ごしたりと、それぞれの「居場所」で過ごすことになります。子供たちにとって心地よい「居場所」で時間を上手に使いながら、有意義な夏休みを過ごし、それぞれの思い出を作ってもらいたいと思っています。

また、子供たちの居場所には、「地域」というすてきな場所もあります。清瀬には、子供たちが楽しめる夏のイベントが予定されていたり、学校では7月26日(土)・8月23日(土)の10:00~12:00に図書館開放があったり、8月21日(木)には漢字検定が実施されたりします。すべて、地域の方々が、子供たちのためにと企画・運営してくださっています。ぜひ、ご利用ください。

～夏休みの思い出いろいろ～

「芝山小だより 夏休み号」発行にあたり、職員室で給食を喫食する先生方に、小学生の頃の思い出を聞いてみました。(誰の思い出?と詮索するのはお控えください。)

○夏休み中は、近くの市民プールに行っていっぱい泳ぎました。

○毎朝5時に父と雑木林に行き、カブトムシやクワガタを捕まえました。捕れないときには、木に樹液を塗りつけておいて、夜8時ころにまた見に行きました。多い時は、100匹ぐらい捕れた年もありました。

○毎朝ラジオ体操に行きました。カードにスタンプを押してもらい、最後にプレゼントをもらって嬉しかったのを覚えています。

○自由研究のことが思い出に残っています。家族で海に行ったときにとれた砂と、割った卵の殻を材料にして作品を作りました。画用紙にボンドを塗り、そこに砂や卵の殻を付けて模様を作りました。毎年、自由研究を考えるのがとても楽しみでした。

○カブトムシを捕まえて、虫かごに入れて飼いました。そのカブトムシを見たり、調べたりして、自由研究でカブトムシの生態や育て方をまとめました。

似たような思い出のある保護者の方もいるのではないのでしょうか。「やりたい」、「楽しい」と思って取り組んだことは、10年、20年…経っても覚えているものです。2学期のスタートの際には、子供たちの思い出を聞かせてもらうのを楽しみにしています。